

ふきしま

【ふきしま将来ビジョン】



このビジョンの主人公は
あなたです。ふきしまで
どんな物語を描きますか？

2023年3月

富木島地域の将来像策定懇談会

富木島地区将来ビジョン（第1版）

【発行】令和5（2023）年3月 / 富木島地域の将来像策定懇談会

【問合せ】富木島ふれあいコミュニティ / <https://www.c-sqr.net/c/fukishimafc>

ふきしまの過去・現在

ここが“いいね”

多様なイベントがあり楽しい

公園が多く子どもをとりまく環境がよい



水害などの自然災害に強くて安全

交通の便がよい



わりと近くで買物や通院などがしやすく便利で住みやすい



犯罪が比較的少なく安心できる



ここは“気になる”

通過交通が多くて危険渋滞も多い

道路整備が不十分



気軽に立ち寄れる飲食店やカフェ居酒屋などが少ない

老若男女が交流する機会が少ない



子どもや若者が集い遊べる場所が少ない



子ども会の存続が難しくなっている

【ふきしまの歴史小ばなし】公民館の近藤館長さんに教えてもらいました。

みんな知ってた？



Q. ご近所さんと会話できない？
A. 新日鉄の従業員の多くは全国各地から移り住んできました。町内会の会合では、東北や九州など各地の方言が飛び交い、話が通じなかったとか…。



Q. ショッピングセンターがあった？
A. 1970年東海東光ストア開店（のちに東急ストアに変更）。何でも揃う頼りになるお店として愛された。秋祭も開催。



Q. 滑走路があったってホント？
A. 戦前に富木島に飛行場が作られ、爆撃機が飛び立っていました。戦後は新聞社機の滑走路に使われ1958年閉鎖。跡地には住宅などが建ち並んだ。

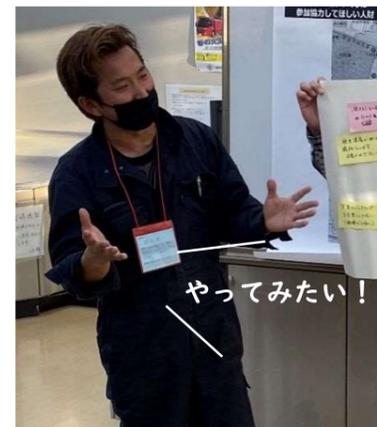
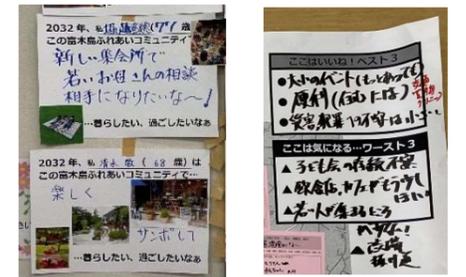
この「将来ビジョン」ってなに？

『わがまち富木島をこんなまちにしたい！』
『将来こんなふうに住みたい』をカタチに！

このビジョンは、ふきしまの過去・現在をふりかえり、これからも魅力的なまちであり続けることをめざしてみんなが考える“未来の富木島はこんなまちにしたい！”
“将来自分はこうありたい！こんな生活がしたい”
という一人ひとりの理想のまちや暮らしの姿を描きました。



昔、ふきしまには・・・



やってみよう！



いいねー



ココがオススメ

いろいろな世代が集まって約半年間かけて話し合い、
みんなの夢やアイデアをつないできました。
あなたの“富木島のここが好き♪”を教えてください！

出典：「東急グループ」HP（写真 左）／「underZero」HP（写真 右）

〔キャッチフレーズ〕

つなぐ。

過去・現在・未来をつなぐ
みんなのわくわくをつなぐ
まちと暮らしと人をつなぐ

『仲間と居酒屋で楽しいお酒』

『ビアガーデンを楽しむ』

おしゃれな居酒屋で、仲間とわいわいお酒を飲んでいたいな。外でビアガーデンもいいね。(50歳代 男性)

『地元に戻りたくなるような』

イベントや祭りが盛ん』

開催時期になると帰省したくなるような、まちのシンボルとなる運動会や祭りが盛ん(30歳代 男性)

『家族で七社に初詣』

お正月には家族が全員元気に集まって、近所の七社に初詣に行けますように。(50歳代 女性)

『中学生が主役の』

イベントが行われている』
中学生が主役となってヤングフェスティバルが開催されている。(14歳、サキちゃん)

『部活動に代わって』

学校で子どものお世話』

学校や公民館で、部活動の代わりになるような子どもを見守る活動を応援したい。(60歳代、男性)

『交流拠点が賑わい』

若い世代の居場所になっている』

誰もが気軽に集まれる場所があり、子育てサロンなどで若い世代の居場所にもなっている。(40歳代 女性)

たません屋のおかあさんになりたい！(40歳代 女性)

『60歳でスケボーに挑戦』

60歳になっても、バスケットやスケートボードにチャレンジして、健康に過ごしたい。(50歳代 男性)

『近所のカフェでくつろぐ』『カフェでレポート作成』

散歩途中におしゃれなカフェに立ち寄って、お友達とゆっくりモーニングを楽しみたい。大学の宿題のレポートを作成しているかな。(20歳代)

『高齢者が安心して』

住み続けられる環境がある』
(80歳代 男性)

『地域ぐるみで』

子育てを応援』

『共働き世帯の』
子どもも安心』
近所のおじいさん・おばあさんが、子育てを応援し、子どもを見守っている。(20歳代 女性)

『運転免許返納後も、』

不便なく暮らせている』
便利なバスが走っていて、買物や通院も便利で、安心して一人暮らし。(70歳代 女性)

みんなが富木島で「チャレンジしてみたい」「一緒に楽しみたい」ことを集めて、3つのテーマに整理してみました。まちや人を元気にするアイデアが満載です。

富木島を元気にする「つなぐ」プロジェクト



テーマ2 “楽しいこと”でつながる



だれでも交流型イベント

小学生や親子が、ベテランのお年寄りからグランドゴルフを教えてもらい、多世代が参加できる大会を開催。3世代の交流や、ハンディキャップのある方との交流、高齢者の健康づくり・生きがいづくりだけでなく、放課後の子どもの見守りにも役立てたい。

地域活動の「サポーター」をスカウト

地域のイベントや集会所のサロン等に参加している人にお声掛けし、気軽にできる地域活動への参加・協力を個別に呼びかけ（スカウト）て、気軽な気持ちで地域の活動をゆるやかに応援してくれる担い手を増やしていきたい。



「子ども体験パーク」

子ども達や若者に人気のスケートボードやドローン、ラジコンなどを楽しめる体験会を、公園や学校・幼稚園のグラウンドなどで開催。年齢に関係なく得意な人が先生役で指導。祭りでのデモ演技や大会も開催したい。いずれ公園整備に発展させたいなあ。

テーマ1 みんなのワクワクが にぎやかに つながる



不用品や野菜、特技などを持ち寄る ふきしまフリーマーケット

不要になった雑貨やおもちゃ、洋服、食品、家庭菜園の野菜などを公民館に持ち寄り、「バザー」「フードライブ」などを盛り込んだフリーマーケットを定期的で開催したい。趣味や特技を生かした体験ブースや、農家さんと連携した芋ほり体験なども面白そう。

若者も活躍！季節の交流イベント

公園や学校、空き地などを活用し、若者がダンスや歌を発表したり、炊き出してみんなと料理を楽しむなど、若者が主役となって、老若男女が仲良く楽しめるような季節のイベントを開催したい。冬には花火をあげたいな。



子どももお年寄りも一緒に食べる！ 地域の「玉せん屋さんなど」出店！

地元の飲食店などにも協力してもらい、町内会のイベントや空き店舗で定期的に「玉せん屋さん」などを出店したい。美味しいものを食べながらわいわいと交流するとともに、子ども達の「お店屋さんごっこ」の場として、地域活動や職業を体験する機会にもできるのでは。

テーマ2に関する アイデアの数々！

- ◎ 神社で老若男女が参加するラジオ体操
- ◎ 「ご近所ピアガーデン」の開催
- ◎ 店舗の開業支援（先輩事業者）
- ◎ 交流拠点の整備（井戸端会議、学生の自習、ランニング等）
- ◎ 保育園プール跡地に子どもが集まれる魅力的な場所をつくる

テーマ1に関する アイデアの数々！

- ◎ 中学生が主役「ヤングフェスティバル」
- ◎ おしゃれな居酒屋でわいわい交流会
- ◎ 四季のイベント（野菜収穫、BBQ など）
- ◎ 歴史公園（資料館）の整備
- ◎ 空き地を有効活用したイベント開催
- ◎ 「坂角」で工場見学・製造体験
- ◎ 若者も楽しめる魅力的な公園整備
- ◎ カフェや居酒屋、商業施設の誘致

このまちが、私たちの誇りです。

にぎやかな花が咲く 富木島の一年

四季折々のまつりやイベントが盛りだくさんな富木島。
楽しそうな明るい声と輝く笑顔があちこちで咲き誇ります。
知らなかったイベントがあったら、一度参加してみませんか。



【6月】
普通救命
講習会



【8月】
納涼
盆踊り
大会



【9月】
あいさつ
運動

【9月】
大運動会



【10月】
防災訓練

【11月】
公民館
まつり



【12月】
子ども餅つき
大会



【1月】
公民館
スポーツ
交流会

【6.7.10.12月】
防犯
パトロール



テーマ3 顔のみえる関係で ゆる〜く つながる

歩いて行ける身近な場所に 「ご近所ふれあいカフェ」

現在行われている「ふれあいカフェ」を生かし、歩いていける身近な集会所や公民館、スーパーの駐車場、コインランドリーなどで、仲間づくりや安否確認、生活相談などを気軽にできるサロンを定期的に開設したい。飲食業の経験者などの力も借りられたら！



子ども会や中学生ボランティアによる 高齢者見守り応援隊&世代間交流

子ども会や中学生ボランティアの活動の一環として、高齢者の日常的な見守り活動を応援してもらう。まずは挨拶を交わして顔見知りになることからスタートし、いずれはコミュニティ組織と連携して茶話会も開催したい。



気軽に集まり交流できる 新しいことにチャレンジ！！

集会所や公民館、健康交流の家などで、誰でも気軽に参加し、相互理解を深めることができる日常的な交流事業を充実する。参加者のニーズをふまえて、麻雀やカラオケ、eスポーツなど様々なコンテンツを用意し、参加者にポイントを付与するなどお楽しみも用意！新しいことを始めたい！



テーマ3に関する アイデアの数々！

- ◎スーパーの駐車場で「青空カフェ」の開催
- ◎高齢者にやさしい住環境づくり
- ◎子育て経験者のジジ・ババが担い手になり、子育てや共働き家庭の子どものお世話を支援
- ◎歩行者・自転車のマナーアップ運動

つなぐノート

**このまちで、あなたがやりたいことや
実現したいことを自由に描いてみてください**

最後のページは、あなたのページです。
絵でも文字でもかまいません。写真や切り抜きを貼ってもいいし、
ただの落書きでもかまいません。気になることだってかまいません。
あなたとの合作で、これは世界に一冊だけのビジョンとして完成します。

ささやかな
プレゼント
あるよ～!



Blank area for drawing or writing with horizontal dashed lines.

年齢〔 〕歳代／お住まい〔 〕町



この用紙を「納涼盆踊り大会」「運動会」「公民館まつり」に持ってきてくれたら、ちょっとしたプレゼントをさしあげます。切取りは不要です（コピーをとらせていただきご返却します。）
ぜひ、みなさんの楽しいアイデアを教えてください。よろしくお願い致します。

【期限：2025年3月末まで】

『富木島将来ビジョン』をみんなの力で 無理なく楽しく
一歩ずつ前に進めていくために 大切にしたいポイント

(各モデル地域での経験や、日本福祉大学 吉村先生の助言を参考に作成)



多様な住民が『未来志向』で 新たな『これから』をともに

みんなで作ってきた地域の歴史や文化、活動などのまちの『宝物』を大切に
守り育てるとともに、まちや人、暮らし
の変化を踏まえて、多様な住民とこれ
からのことを『未来志向』で柔軟に考え
ていきましょう。過去の“当たり前”に
こだわりすぎないように…。

課題解決(やるべき)とともに、 『やりたい』『得意』を種まき!

地域の課題を解決“するべき(義務)”
と捉えるだけでは、望ましい成果や新
たな担い手は生まれにくいのかも…。
一人ひとりの『やりたい』や『得意』と
いう種をまき、みんなが楽しくなるよ
うに育てることが課題解決
の近道にもなるのでは。



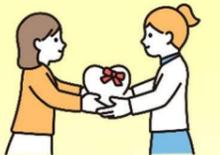
わくわく参加したくなるような 『楽しさ・面白さ』を大切に

無理に参加者を集めたり、協力者とし
て巻き込むのではなく、参加したくな
る、自然と集まるような『楽しさ』や
『面白さ』が大切。賛同や
共感の輪を広げていくため
の動キーワードは
「わくわく」!



子ども、若者、女性、シニア… 様々な『当事者』の輪を広げる

子どもや若者、子育て世代などは、「無
関心」「お客さん」と捉えられがち。
住民のまちへの関心や愛着を育むとと
もに、それぞれのペースでゆるやかに
まちや人とつながり、
多様な当事者の輪を
広げていくことが大切。



小さく実践しながら、まちもビジョンも成長させる

多くの住民が、わがまちを楽しむ「手がかり」や「きっかけ」として
このビジョンを活用し、小さなチャレンジを応援しましょう。そうし
た実践を積み重ね、まちもビジョンもともに育てていきましょう。

